

あなた個人で新型コロナウイルス感染対応に関して行った活動があれば記入してください。
PCRセンターでの業務管理システムの構築
Seven Practical Human Factors and Ergonomic Tips for Teleworking/Home-learning using Tablet/Smartphone Devices, First Edition作成に協力した。
アフターコロナを見据えた提言等に関する異業種連携のアイディエーション
ある趣味の分野で新型コロナ感染対策に関する情報をSNSで発信。
オンライン授業の体制づくり, ツール導入, 学生・教員支援のしくみ, 入構ルール, 対面授業開始に向けての感染予防対策など。
こども環境学会のHPに、この環境下で、いかにこどもの健康と遊びを守るかについて一般向けの発信をした
コロナが生活や社会に与えた影響について考えるワークショップに参加した
コロナデータの解析 (罹患者数予測)
コロナでの医療者対策アイデアソンに参加し、医療従事者から現場の状況についての話を聴くことができた。
コロナ対策オンラインセミナー参加
テレワーキング等関連ガイドラインの普及活動
ブログ投稿など
ボランティア少年サッカーチームの練習再開に向けた情報収集
マスコミ誌への私的見解の広報活動
ライブハウスへの金銭的支援。
医療機関への寄付
学会や大学にてガイドや対応/指針を作成。
学生へのリモート授業で、学会の作成した「ノートパソコンのガイドライン」「7つのアイデア」を紹介するために、動画に入れたり、ファイルを閲覧できるようにした。
学生への情報提供
官邸ネットなどへの意見発信
関係する研究成果の発信
時差出勤をした。
自宅での子供との過ごし方について、自宅でするちょっとした遊びや提供されている子供用コンテンツの情報共有をInstagramを通して投稿していました
社内でのリモートワークに関するノウハウの共有、発信
社内ブログへのリモートワークサポートに関する情報発信、ITmediaへの当部取り組みテレワーク記事掲載
手づくりマスクの製造・販売
授業で7tipsを紹介した。
所属学会のHPから、こどもと保護者に向けた情報発信
消毒用エタノールの準備
人間工学会発行「タブレット・スマートフォンなどを~7つの人間工学ヒント」をイントラに掲載し社内で情報展開
組織内研修と指導
徹底した外出自粛の継続
日々の検温 3密回避
日本人間工学会のCOVID-19に関する企画等への協力

(人間工学に関する活動で)遠隔でできなかったこと
3密になりうる、現場現物でのデプスインタビューや行動/生理計測は、中止せざるを得ない状態になっている。
PCRセンターなどの医療現場でのオペレーション調査には、現地調査が必要であった
イベントが中止になった。
フィールドワーク、ワークショップ、海外調査
ユーザビリティ評価の実施
機器の評価検証
個人情報を取り扱うデータの処理
実験準備
社内で試作品を操作して身体的負担度を評価する予定だったが、出勤禁止となりZoomで操作方法を見てもらうことしかできず、負担度を計測できなかった。別の日に評価を行うため出勤申請をしたが、許可が直前まで下りず、参加者の交渉は前日、評価環境のセッティングは当日など、準備時間をほとんどとれず評価を失敗しそうだった。また、試作機の状態を評価当日しか確認できず、実施しながら何度も調整が発生した。データをとれたことだけでもラッキーだった。
人を計測する事は遠隔では難しいと思いました
人間工学関連の実験や演習が実施できない。
専用機材の必要なプロトタイプング
打ち合わせ先の方が、リモートに対応しておらず、打ち合わせができない
捺印
複数者と面談機会を持ちたかったが、Stay Homeを意識して断念した。
文献調査（論文誌のオンライン化は進んでいるが、職場にある書籍や古い国プロの報告書を読むことができなかった）

あなた自身やあなたの職場で、独自に工夫したことを紹介してください。	紹介された工夫は、 どれにもっとも関連 しますか。（ひとつ だけ）	紹介された工夫は、 実施後効果がありま したか？
オンデマンド授業にした	業務維持・遂行	効果があった
学内でのマスクと消毒剤の配布、学食での座席削減・対面座席の除去	感染防止	まだわからない
研修やインタビューなどのリモート化	感染防止	まだわからない
一般的ですが、会議室の換気、アルコールの準備、手洗い励行、会議参加者で持っていない方へのマスク配布、通常より人の間をあけての会議	感染防止	まだわからない
リモートワークの推奨⇒4月9日からは、原則出勤禁止。	感染防止	まだわからない
Web会議システムの積極的活用	業務維持・遂行	効果があった
多様な業務形態への対応。（午前のみ、午後のみ、など一部時間のみ会社への出勤可。在宅勤務の最大日数の緩和）	業務維持・遂行	効果があった
マスク着用、別フロアへの移動制限、在宅勤務	感染防止	効果があった
健康維持・自宅保育を可能にするための業務形態の工夫	健康維持	まだわからない
基本的な感染予防対策（手洗い・うがい）を実施する。	感染防止	まだわからない
理事会、総会や、職員のヒアリングにZoomの活用	業務維持・遂行	効果があった
職業訓練の一部として、「マスク」の製造・販売 模様を工夫して差別化を図り好評	業務維持・遂行	効果があった
現場が新潟で、東京から遠隔で対応が出来た	業務維持・遂行	効果があった
マスクの着用、換気、消毒。通勤の際にはフレックスタイム制、スーパーフレックスを活用し混雑時間帯を避ける。外勤・出張の自粛。講習会、セミナー等の開催中止・変更。	感染防止	効果があった
実験を延期し、実験のための予備調査や論文作成などのペーパーワーク中心の業務に切り替えた。	業務維持・遂行	まだわからない
業務チーム内で、毎朝持ち回りで気になるニュースをリモートで紹介し、コメントをし合うことで、会わなくてもモチベーションを維持できるようにした。	業務維持・遂行	まだわからない
録画環境や音声のループバックの機能などを改めて設定し、Web会議・配信いずれにも対応できるようにした	業務維持・遂行	まだわからない
リモートワーク。マスク着用。帰宅後の手洗い、消毒。プライベートでは家から出ない。買い物は宅配または週一スーパーへ。エレベーターのボタンは手で直接触らない。	感染防止	まだわからない
職場では急遽リモート業務の手配が進み、在宅勤務することができた。	業務維持・遂行	効果があった
Web会議による研究テーマの選考会の開催。職場で誰も開催経験がないため、接続試験、開催などを手順書としてまとめた。作成した手順書は職場に展開し、情報共有を図った。	業務維持・遂行	効果があった
出勤しなければ困難なこと、それをリモートでカバーする方法はあるかを所属内で共有	業務維持・遂行	効果があった
全てリモートワーク。一部の人のみ出社する。	感染防止	効果があった
リモートでのセミナー開催でRemoというツールを活用した。	業務維持・遂行	効果があった
メール交換で、毎日、朝礼と終礼を実施	業務維持・遂行	効果があった
遠隔授業対応のために、オンデマンド教材を作成したこと	業務維持・遂行	効果があった
学生の通信環境が整っていないケースに備えて、授業資料にText To Speech機能を取り入れて、少ないデータ容量で対面授業に近い授業を受けられるようにしたこと	業務維持・遂行	まだわからない
実習用のPCソフトの使い方を動画で記録し、授業資料と一緒に配布したこと	業務維持・遂行	効果があった

被験者実験) 実験前に被験者に、どのような感染予防対策を行うか伝えて同意を得た。実験時には対策を実施するだけでなく、本人自ら追加消毒ができるよう消毒セットを用意した。	感染防止	効果があった
在宅勤務 +web会議での全体朝礼(週3回)	業務維持・遂行	効果があった
自宅学習実施のためには紙面活字の配布に意味があると考え、事務方に配布資料の印刷と学生への郵送を依頼。学生数が少なければ可能。	業務維持・遂行	まだわからない
デスクトップPCのモバイル化(デスクトップPCを自宅に持って帰って業務継続できるよう、セキュリティやネットワークをモバイルPC同等にした)	業務維持・遂行	効果があった
テレワークにより集中する時間は増えたが、定期的なカラダの動きが減った。対策として時間を決めて散歩、運動を行なった。	健康維持	効果があった
本来対面で行うGUIの評価をオンラインで行った	業務維持・遂行	効果があった
在宅勤務時の作業環境整備、	健康維持	効果があった
飛沫による感染防止対策	業務維持・遂行	まだわからない
移動制限(出張や集合しての会議の禁止)	業務維持・遂行	効果があった
出社社員の抑制。事務所の「島」の中で、出社社員の座席が互い違いになるように席替え。	感染防止	まだわからない
出社社員は自家用車通勤を優先し、公共交通機関利用者は、テレワーク機材を優先的に配布した。	感染防止	まだわからない
ありきたりですが、テレワーク、オンラインミーティングを活用しました。	感染防止	効果があった
個室になっている会議室を使わない	感染防止	まだわからない
来客を招かない	感染防止	まだわからない
階数を動かない。貸しビル19階、20階フロアを使っているため、違うフロアへの出入りを禁止された	業務維持・遂行	まだわからない
部門長以外はリモートワークへシフトし、社内方針に沿ったリモートワークのルールを独自に制定・運用	業務維持・遂行	効果があった
換気、手洗い励行、うがい励行、ソーシャルディスタンス	感染防止	まだわからない
オフィスに仕切りを入れ、区画化し、人の移動を最小限にした。	感染防止	まだわからない
更衣室の利用を中止した(私服勤務OKとした)	感染防止	まだわからない
ワークショップ運営を良くやる職場なのだが、それをオンライン化するという工夫も含まれるのなら。	感染防止	効果があった
通勤および勤務中の3密を避けるため、勤務時間を3グループに分けた。	感染防止	まだわからない
部署毎の食堂利用時間を細分化し前後にずらすことで3密防止を図った。	感染防止	まだわからない
医療従事者用フェイスシールド700個を製作し、県内病院等に提供した(ただし、人間工学専門的改善ポイントは特にありません)	感染防止	効果があった
食堂の座席配置を工夫し、一人一テーブルで同じ方向を向いて着席できるようにしてあった。	感染防止	効果があった
会社、および所属している部が、コロナの状況に応じて、どのように業務を進めるかという指針を出した。	感染防止	まだわからない
社内のフリーデスク化	業務維持・遂行	まだわからない
Web会議化	業務維持・遂行	効果があった
マスク着用	感染防止	効果があった
会議時間短縮	業務維持・遂行	効果があった
在宅勤務で、同僚とのコミュニケーションが減るので、毎日30分雑談の時間を設けた	業務維持・遂行	効果があった
毎日散歩をすることとした	健康維持	効果があった
zoomなどの利用	業務維持・遂行	まだわからない

手洗い方法を見直した。必ず石鹸で洗うのと、正しい洗い方を学んでその方法で行うようにしている。	感染防止	効果があった
外出時は必ずマスクをつける。手作りマスクの使い方を調べて、何個か作成した。買い物などほとんどしゃべらない外出では手作りマスクを使用し、使い捨てマスクは出勤時で会話が発生するときに使用するようになっている。	業務維持・遂行	効果があった
在宅で座り作業が増えたので、できる限り体操と運動を取り入れた。本当はランニングをしたいが、それは極力我慢して代わりにヨガと縄跳びを取り入れた。縄跳びは外で行うので、ランニング用マスクをつけて飛沫を飛ばさないように注意している。	健康維持	効果があった
Webアンケート形式で分析業務を行えるようにした	業務維持・遂行	効果があった
チームメンバーに「7つの人間工学ヒント」を連携した	業務維持・遂行	まだわからない
オンラインでできる限りの対応を実施し、かなりのことはできています。	業務維持・遂行	効果があった
オンラインで対応した。	業務維持・遂行	効果があった
weeklyでzoomでのアスレチックを企画し、継続している。	健康維持	効果があった
密にならないよう、業務する部屋を分散した	業務維持・遂行	まだわからない
在宅ワークの積極的な推進	感染防止	まだわからない
ストレッチを定期的に行う	健康維持	効果があった
在宅ワーク用に椅子の購入	健康維持	効果があった
マニュアルの整備。会議体の見直し。リモート会議の導入。	業務維持・遂行	効果があった
afterコロナを見据えた商品開発とサービスの導入検討プロジェクトが発足し、そのPLに選ばれた。	業務維持・遂行	まだわからない
通勤に公共交通機関を利用しない。	感染防止	効果があった
スポーツジムで日頃行っているメニューを自宅でほぼ実施できるようにした。	健康維持	効果があった
マスクを従業員に1週間に1回配布、洗浄&除菌で1週間連続して使うように指示がでた。	感染防止	効果があった
扉の開閉をする際に複数の従業員が接触する取っ手が心配だったので、普段は閉めている扉をすべて開放固定した。	感染防止	効果があった
向かい合わせになるデスクに衝立をたてた。	感染防止	効果があった
研究会をZoom会議で数回行った。資料交換は従来通りメールでタイムリーに行い効果を上げている。	感染防止	効果があった
Zoom会議で使用する資料は事前に印刷したハードコピーが最適である。会議進行に合わせて従来通りノート作成を心掛けた。	感染防止	効果があった
楽観的なシナリオと悲観的なシナリオを想定し、イベントのオンライン化を積極的に行った。	業務維持・遂行	効果があった
家族全員が自宅で仕事、学習をすることになり、話し合いながら部屋の割付け、環境整備をした。	業務維持・遂行	効果があった
緊急事態宣言の前からリモートワーク対応の準備を進めた。また、小さな子供がいる職員には、3時頃に育児時間を1時間確保することを認めた	健康維持	効果があった
勤務開始時と終了時に上長にメール連絡。その際に、部下には一言添えて1日一回は返信し、コミュニケーションを図った。	業務維持・遂行	効果があった
週1回程度、WEB室内ミーティングを開催し、困っていることや工夫点、情報共有や近況報告をするようにした。	業務維持・遂行	効果があった
オンライン上で通常業務を遂行するためのツール利用検証	業務維持・遂行	まだわからない
動画収録のための環境を整えた	業務維持・遂行	効果があった
定期的トレーニング（縄跳び、筋トレ）	健康維持	効果があった
外出箇所の記録、接触者の記録、多人数接触の回避	感染防止	効果があった
アクリル板と木材により飛沫防止パーティションの製作を行った。	感染防止	まだわからない

通常の出勤でも、電車に乗る際は普通電車に乗る。バスを使わず自転車で移動など。	感染防止	まだわからない
職場において、感染が危険視される箇所（複合機の操作パネルなど）を毎日消毒できるシステムを構築。	感染防止	まだわからない
動画教材の作成と公開	感染防止	まだわからない
オンライン授業の学生の技術的面での支援に注力、職員、気教員、協力学生がオンラインで実施し、FAQをつくって随時参照できるようにした。学生のケア（特に新入生）は担任を窓口にし密なコミュニケーションをとるようにした。	業務維持・遂行	効果があった
自身では家の中で歩数計・心拍計をつけて定期的に歩く、20-20-20をできるだけ実践、昇降できる机を購入して立位作業も取り入れている。	健康維持	まだわからない
空気清浄機の導入、対面授業開始に向けて感染予防対策。教員の意識・対応のある程度の統一。	感染防止	まだわからない
職場内の打合せであっても、WEBで実施し、一箇所に人が集まらないようにした。	感染防止	まだわからない
日々の検温記録	感染防止	まだわからない
稟議書の電子回覧	業務維持・遂行	まだわからない
対面打合せ禁止、時差通勤、時差喫食	感染防止	効果があった
交通機関や店舗などの屋内で手軽に快適にマスクを装着できる工夫を模索した。	感染防止	まだわからない
早期にリモートワークツール（Teams）を導入し、研究推進体制を構築した。	業務維持・遂行	効果があった
活動量の確認、維持。ここ3、4年、ほぼ24時間Apple Watchをつけて歩数や心拍数を計測しているため、活動量の変化が定量的にわかります。	健康維持	効果があった
実験被験者向けの、アクリル板設置や、実験者のフェースガード準備	感染防止	まだわからない
通勤がなくなることで体を動かす時間が減り腰痛等が発生したため、健康維持のために朝の運動を取り入れた	健康維持	まだわからない
社内外問わず、極力チャット、web会議システム（音声のみ、カメラありの使い分けを含む）の活用を推進した。	業務維持・遂行	効果があった
すべてリモートになった。そのための資料や業務をすべて遠隔でできるよう変更した。	業務維持・遂行	効果があった
在宅勤務ガイドラインの策定	業務維持・遂行	効果があった
コラボレーションツールの活用	業務維持・遂行	効果があった
手洗い、手指消毒、マスク着用、自転車通勤	感染防止	効果があった
クラウドの利用（緊急的にデータの移行作業を行った）	業務維持・遂行	効果があった
リモートワークにおけるコミュニケーション円滑化のためのアプリケーション活用	業務維持・遂行	効果があった
リモート会議	健康維持	効果があった
ガムを噛んだ	感染防止	効果があった
被験者実験を対象として、参加する被験者に加え、実験を実施する担当者も含めて安心して実験を行うための社内ガイドライン(モニター評価実験について)の策定	業務維持・遂行	まだわからない
執務室より実験室で執務した。（蜜防止）	感染防止	まだわからない
三密にならないようにデスク間に壁を設定した。	感染防止	まだわからない
対面での打ち合わせ等の制限	感染防止	まだわからない
会議のオンライン化	業務維持・遂行	まだわからない
行動を記録する	感染防止	まだわからない
普段であれば職場でかわせる情報交換をリモートで行うため、チャンネルを複数用意してコミュニケーションをとるようにした。	業務維持・遂行	効果があった
アルコール消毒を持ち歩く	感染防止	まだわからない

三密を避ける外出時，人と会う時はマスクかラッシュガードを装着し，自身が無症状陽性者である場合に他者に飛沫感染をさせないようにする。手洗い，消毒の徹底。	感染防止	まだわからない
体温・体調・行動記録表の運用	業務維持・遂行	まだわからない
社服通勤許可（更衣室が密にならないように）	感染防止	まだわからない
扉の一部を常時開放	感染防止	まだわからない
テレワーク時のweb会議にてモニターの配置	業務維持・遂行	効果があった
コミュニケーション不足によるTeams/Skypeの積極的な活用	業務維持・遂行	まだわからない